

事業所向け 児童発達支援自己評価結果

児童デイサービスやまと

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容 又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			十分確保されている
	2	職員の配置数は適切であるか	○			規定人数以上の配置をしている
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がい者の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○			実施されている
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○			活動後、清掃・消毒の実施
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか		○		常勤職員がほとんど行い、非常勤職員が参画出来ていない場面があり、改良が必要
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			いただいたご意見に対応できるよう、会議に上程するほか、都度話をしているようにしている
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			実施
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		学生の実習生からの評価を受けている
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			権利擁護の研修や専門知識の学習会等も実施
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○			計画見直しの際はご家族へ要望の確認を実施。要望とモニタリングを併せて作成をしている
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		低年齢の児童に対してのアセスメントツールがまだ不十分な面があるため、今後整備する
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか		○		専門的な支援が不十分な点もあり、専門職と支援職と連携を図り、整えている段階である
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○			ケース会議を実施し、支援目標等を共有。活動に反映させている

事業所向け 児童発達支援自己評価結果

児童デイサービスやまと

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容 又は改善目標
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			実施
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			1日の軸はあるものの、主活動に対しては固定しないよう工夫している
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか	○			ケース会議時に、職員間でモニタリングを確認。計画と現状の相違がないかの確認を実施
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			利用児童やその担当、主活動時の流れなどを確認している
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			時間の関係もあるので、翌日には必ず実施している
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			パソコンのシステムを活用し、その日の利用児童の記録を作成。残された記録はのちに児童別に検索ができるなど、支援に役立っている
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○			ケース会議の場にて、複数の職員で確認を行う
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			実施。連携を図ったものに対しては持ち帰り、事業所職員間でコンセンサスをはかっている
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか		○		
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか		○		現在該当する児童なし。必要に応じて実施していく
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか			○	現在該当する児童なし。必要に応じて実施していく
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか		○		個別療育の方は行っている。集団療育の方は不十分な所があるため、今後専門職と連携して進める
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか		○		個別療育の方は行っている。集団療育の方は不十分な所があるため、今後専門職と連携して進める。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			見学等行ったり、連絡を取り合い連携を図っている

事業所向け 児童発達支援自己評価結果

児童デイサービスやまと

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容 又は改善目標
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか			○	コロナ禍もあり未実施であるが、法人内にこども園があり、今後交流していく予定
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○			
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			職員を派遣している
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか		○		ペアレント・トレーニングは実施していないが、個々にフィードバックを実施
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時、また定期的に説明
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○			説明する場を設定し、ご家族の考え等も確認しながら、同意を得ている
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	併設している療育センター主催のものはあるが、事業所としては未実施。今後連携して実施することを検討
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			随時対応
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			3回/年発行
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○			実施
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			絵・写真カードや筆記用具の活用等、都度対応している
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	コロナ禍以降、実施出来ていない。状況を見ながら、法人主催の地域の方を招いての行事を実施予定

事業所向け 児童発達支援自己評価結果

児童デイサービスやまと

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容 又は改善目標
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか		○		防犯マニュアルはまだ不十分なため、訓練も含めて実施していく。保護者向けにファイルを作成して閲覧できる場所に置いている
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			消火・避難訓練を2回/年実施
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○			生活状況確認表を用いて、ご家族に記入してもらっている
	44	食物アレルギーのある子どもについて、示書に基づく対応がされているか 医師の指示に基づく対応がされているか	○			調査書の記入を依頼。その項目にアレルギーの記述があり、該当する場合はご家族と話し合うとともに、診断書・処方箋の提出を依頼
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			実施
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			法人に委員会を設置しており、主催の研修を毎年実施
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○			契約時に説明 切迫・非代替・一時の3条件にて万が一実施することになった場合は、事前にご家族へ連絡を入れ、了承を得る

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

事業所向け 放課後等デイサービス自己評価表

児童デイサービスやまと

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			十分確保されている
	2	職員の配置数は適切であるか	○			規定数以上の配置を実施
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか		○		常勤職員でほとんど行い、非常勤職員が参画出来ていない事も多いため、改良が必要
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			いただいたご意見に対応できるよう、会議に上程するほか、都度話をしていけるようにしている
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		学生の実習生からの評価は受けている
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			法人内において研修委員を設置したり、外部研修への積極的な派遣など、研鑽の機会を設けている。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			計画見直しの際はご家族へ要望の確認を実施。要望とモニタリングを併せて作成をしている
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			実施。必要に応じて項目の修正を行っている
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			実施
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			1日の軸はあるものの、主活動に対しては固定しないよう工夫している
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか		○		集団としてのプログラムや作業や課題等が不十分な点もあるので、今後体制を整備し、提供していく
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			1日の軸はあるものの、主活動に対しては固定しないよう工夫している
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			利用児童やその担当。送迎職員配置や主活動時の流れなどを確認している
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			時間の関係もあるので、翌日には必ず実施している
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			パソコンのシステムを活用し、その日の利用児童の記録を作成。残された記録はのちに児童別に検索ができるなど、支援に役立っている

事業所向け 放課後等デイサービス自己評価表

児童デイサービスやまと

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			ケース会議の場にて、複数の職員で確認を行う
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	○			実施
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			実施。連携を図ったものに対しては持ち帰り、事業所職員間でコンセンサスをはかっている
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			学校の情報（行事や下校時間の変更等）に関しては基本的には家族を通して確認を行うことになっているが、連絡調整等は行えている
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	現在該当する児童なし。必要に応じて整備する
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○		新規の低学年の児童が今はいなく、就学前の施設等との関わりを持つ機会はなかったが、別事業所から来た児童に関して等は、相談支援事業所を通して関わりを持っている
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供するなどしているか	○			移行先の事業所が、受け入れに際して事前見学を希望された際の対応を実施している 移行後も要望に応じて情報共有の体制は整えている
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			併設している療育センター職員と連携し、プログラム内容や支援を検討している
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	コロナ禍以降、実施出来ていない
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○			職員を派遣している
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			送迎時などに実施
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○		ペアレント・トレーニングの実施はないが、個別のフィードバックは実施している	
保護者への	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	併設している療育センター主催のものはあるが、事業所としては未実施。今後連携して実施していくことを検討
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			契約時に説明 事業所内にポスターを掲示し、周知している。苦情を受けた際は管理者間で報告。対応をしている

事業所向け 放課後等デイサービス自己評価表

児童デイサービスやまと

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
説明責任等	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			3回/年発行
	35	個人情報に十分注意しているか	○			実施
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			絵・写真カードや筆記用具の活用等、都度対応している
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	コロナ禍以降、実施出来ていない。状況を見ながら、法人主催の地域の方を招いての行事を実施予定
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○		防犯マニュアルはまだ不十分のため、訓練も含めて実施していく。保護者向けにファイルを作成して閲覧できる場所に置いている
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			消火・避難訓練を2回/年実施
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			法人に委員会を設置しており、主催の研修を毎年実施
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			契約時に説明 切迫・非代替・一時の3条件にて万が一実施することになった場合は、事前にご家族へ連絡を入れ、了承を得る
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			調査書の記入を依頼。その項目にアレルギーの記述があり、該当する場合はご家族と話し合うとともに、診断書・処方箋の提出を依頼
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			実施